推 薦 図 書

学　科：　音楽学部	氏　名：　井谷 俊二

書　名：　ピアノへの道　　(原題：　Wege zum Klavier　)

著者・訳者：　アンドール・フォルデス著　　渡辺護訳

出　版　：　音楽之友社　1956

〈推　薦　文〉

大学2年のときの「演奏法」講義のテキストであった。作者のアンドール・フォルデス(191年～ 1992年)はハンガリーで生まれドイツで活躍したピアニスト。小さくてとても読みやすい。中身は「第1章～正しく習い始めるということ。　第2章～譜を読むことと音楽を聴くことについて。第3章～テクニックについて。第4章～練習のしかた。第5章～暗譜について。第6章～公開演奏のための準備。第7章～解釈について。」と、とても具体的だ。

第5章は活水での「ピアノ作品研究」講義でも引用させてもらっている。示唆に富んでいてピアノ、ひいては演奏の壁を打ち破ることを教えてくれる名著だ。35年前の最初のリサイタルのときに、「御守り」のつもりで舞台袖に置いていたのも懐かしい。

(備考　：　絶版ですが、活水図書館にあります。)